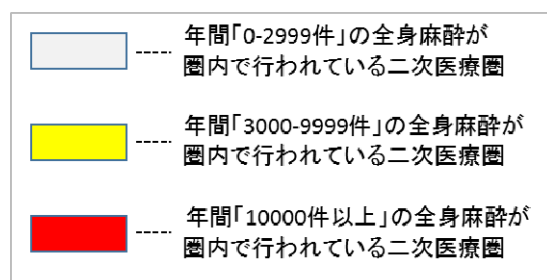
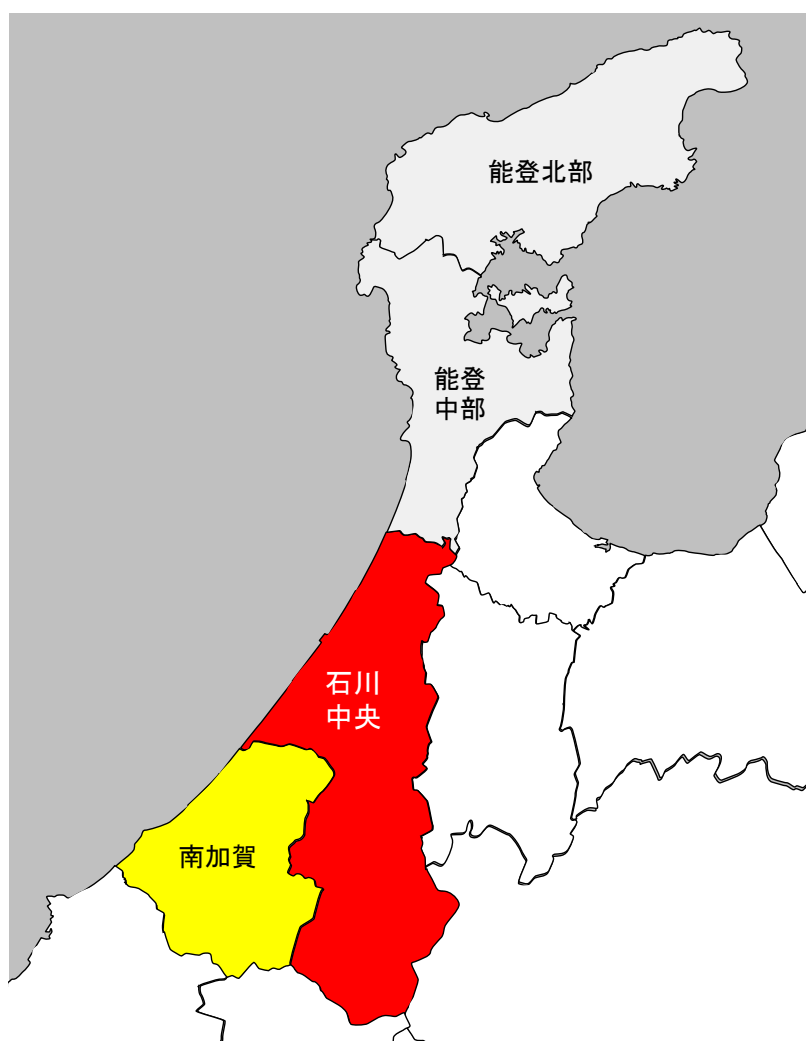


17. 石川県



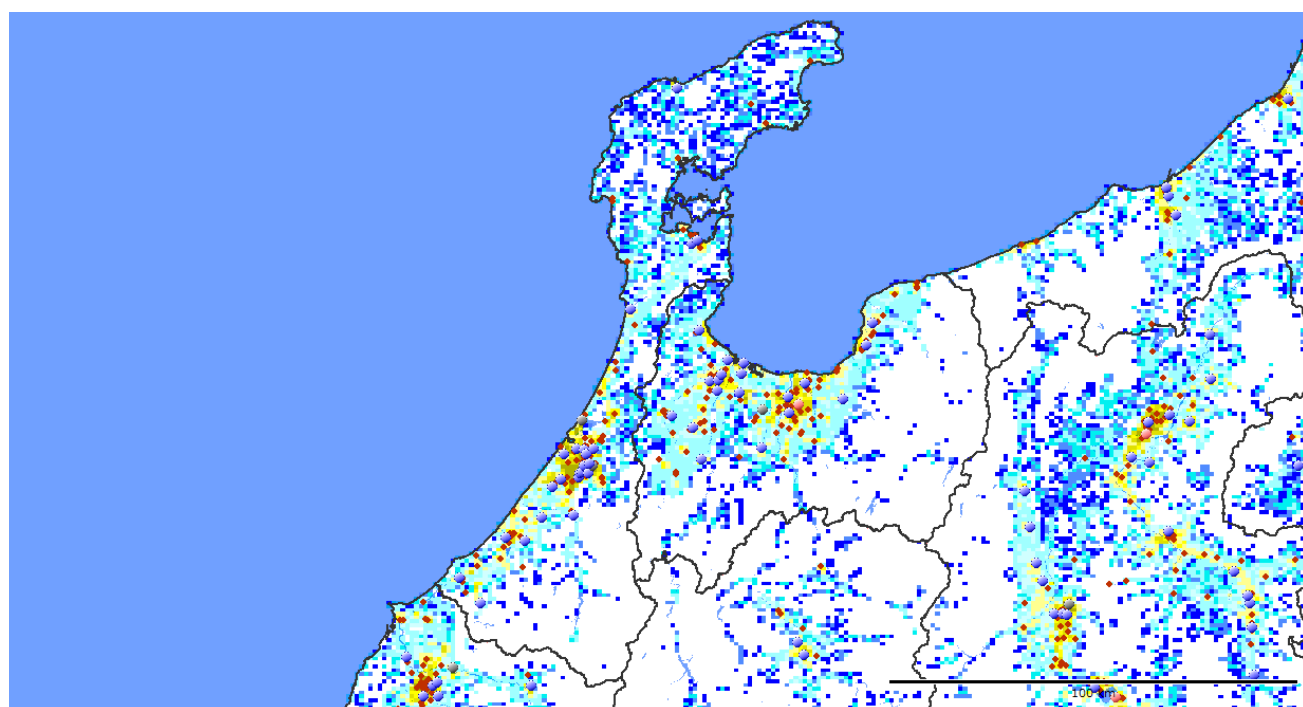
17. 石川県

目次

石川県.....	17 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	17 - 7
1. 南加賀医療圏.....	17 - 15
2. 石川中央医療圏.....	17 - 19
3. 能登中部医療圏.....	17 - 23
4. 能登北部医療圏.....	17 - 27

17. 石川県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 石川県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(石川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 石川県は、総人口約 1153 千人(2015 年推計)、面積 4186 km²、人口密度は 275 人/km²である。

*人口の将来予測： 石川県の総人口は 2025 年に 1096 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 974 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 155 千人が、2025 年にかけて 208 千人へと増加し(2015 年比+34%)、2040 年には 205 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 石川県の一人当たり医療費(国保)は 355 千円(偏差値 61)、介護給付費は 280 千円(偏差値 58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 石川県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.37、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.46 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 52(病院医師数 56、診療所医師数 45)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は 57 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 54 とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 56 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 53 で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 石川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17852 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 12036 床(偏差値 65)、高齢者住宅等が 5816 床(偏差値 51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14476 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 63)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 59、特別養護老人ホーム 61、介護療養型医療施設 56、有料老人ホーム 43、軽費ホーム 66、グループホーム 63、サ高住 46 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 54 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 58 と多い。介護職員(在宅)の合計は、1561 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は14708床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は11900床であり、その差は-2808床(-19%)である。

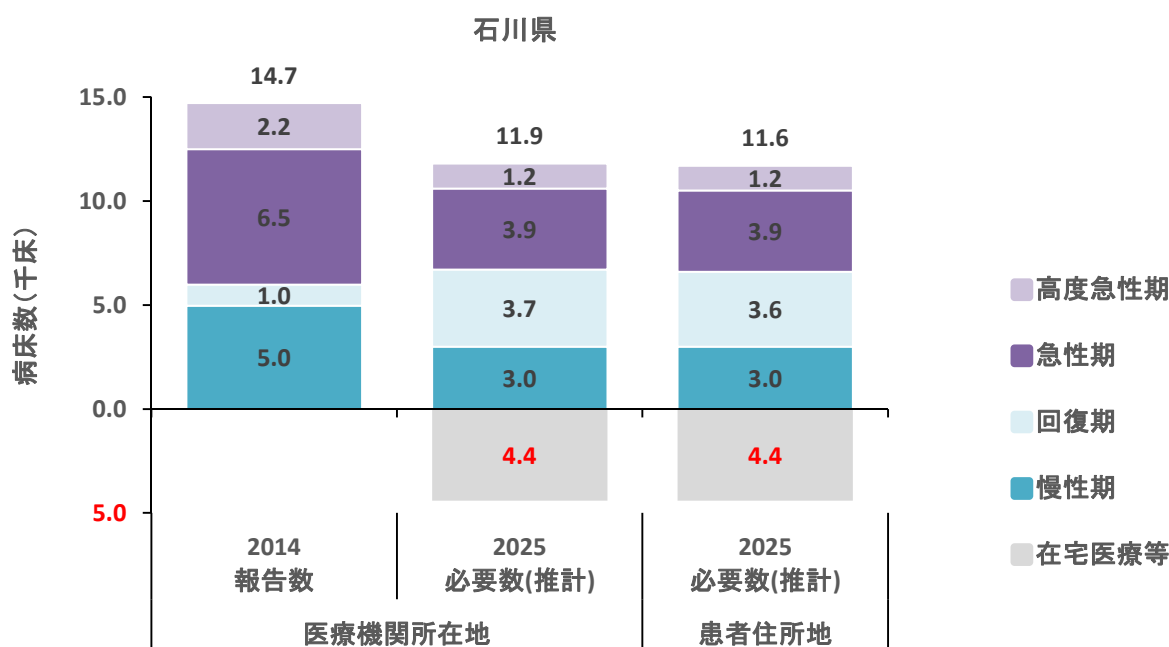
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は2218床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1200床であり、その差は-1018床(-46%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は6506床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3900床であり、その差は-2606床(-40%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1017床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3700床であり、その差は+2683床(+264%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は4967床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3000床であり、その差は-1967床(-40%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は4400人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+24%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

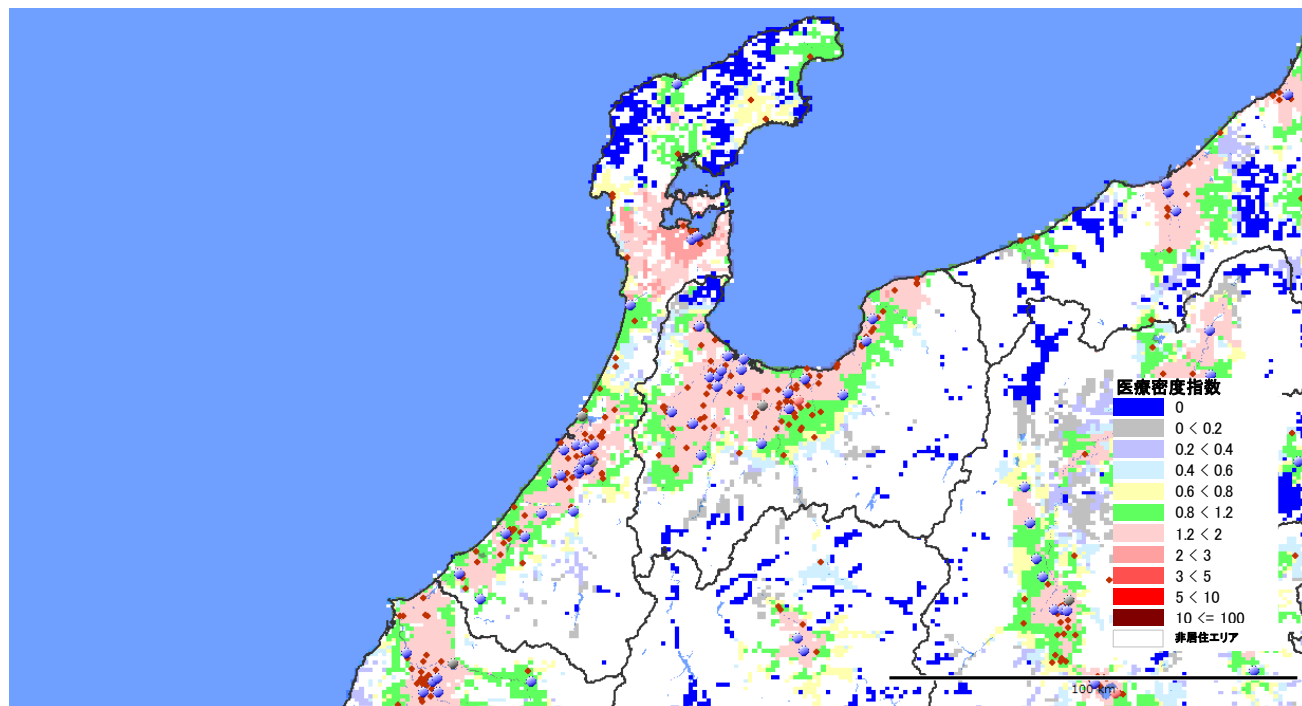
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

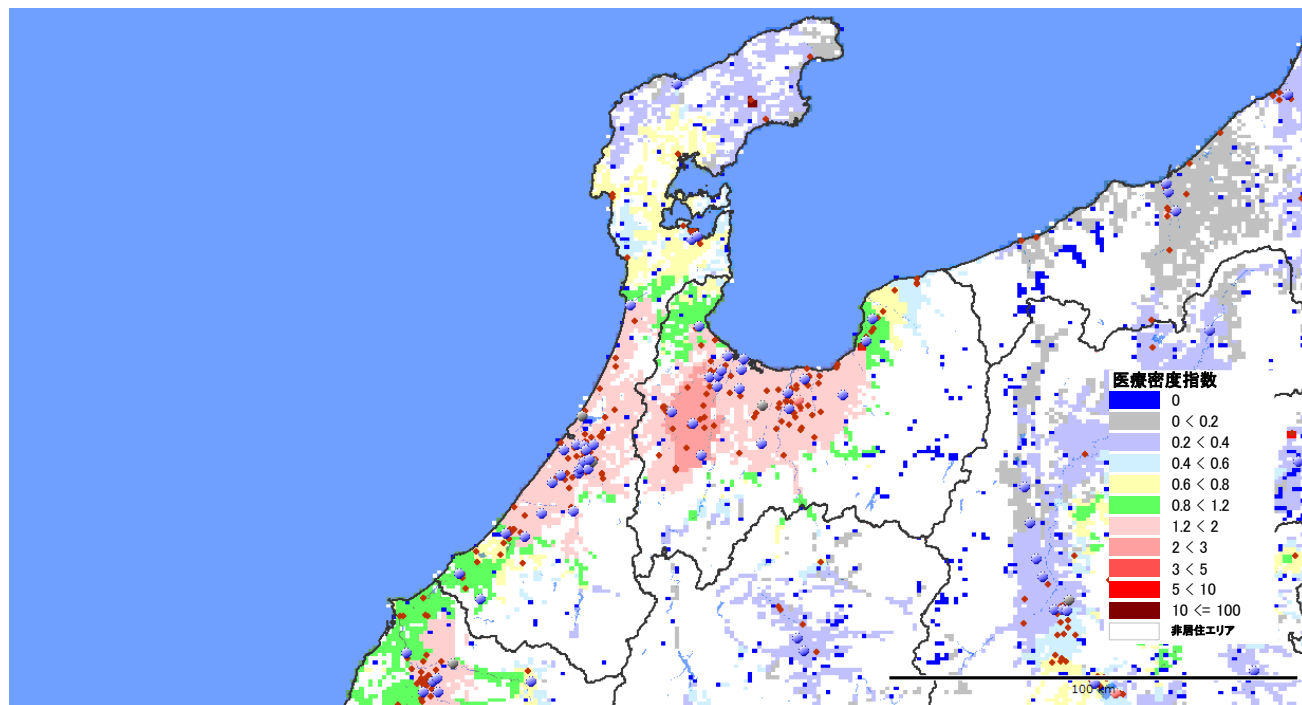
17. 石川県

2. 医療密度⁵

図表 17-1 急性期医療密度指数マップ



図表 17-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 17-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
石川県	1,153	34位	4,186	35位	275.4		28%	1,096	974	155	208	205	-5%	-11%	34%	-1%
南加賀	231	20%	776	19%	297.6	地方都市型	28%	218	193	31	42	39	-6%	-11%	35%	-7%
石川中央	727	63%	1,432	34%	507.4	地方都市型	25%	713	659	83	121	128	-2%	-8%	46%	6%
能登中部	128	11%	848	20%	150.5	過疎地域型	36%	111	86	23	28	24	-13%	-23%	22%	-14%
能登北部	68	6%	1,130	27%	60.1	過疎地域型	45%	54	37	17	17	13	-21%	-31%	0%	-24%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 17-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
石川県	1.37	1.46	23.5%	-2.5%	-1.0%
南加賀	1.16	1.62	22.1%	-4.7%	1.8%
石川中央	1.45	1.31	19.2%	-17.0%	-24.3%
能登中部	1.73	1.48	21.3%	6.2%	19.0%
能登北部	0.66	1.33	19.1%	18.8%	38.5%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

¹日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

17. 石川県

資_図表 17-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
石川県	355	61	280	58
南加賀	349	60	284	59
石川中央	350	60	271	56
能登中部	378	66	296	62
能登北部	370	64	299	63
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 17-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
石川県	98	1.1%	8.5	54	877	0.9%	76	48
南加賀	22	22%	9.5	57	155	18%	67	44
石川中央	59	60%	8.1	53	576	66%	79	50
能登中部	12	12%	9.4	56	88	10%	69	45
能登北部	5	5%	7.4	51	58	7%	85	53
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 17-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
石川県	877	0.9%	76	48	797	0.9%	69	48	80	0.9%	6.9	49
南加賀	155	18%	67	44	140	18%	61	44	15	19%	6.5	49
石川中央	576	66%	79	50	523	66%	72	50	53	66%	7.3	50
能登中部	88	10%	69	45	79	10%	62	45	9	11%	7.1	50
能登北部	58	7%	85	53	55	7%	81	55	3	4%	4.4	46
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 17-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
石川県	18,735	1.2%	1,625	57	1,074	0.9%	93	50	19,809	1.2%	1,718	57
南加賀	3,239	17%	1,403	53	177	16%	77	48	3,416	17%	1,479	52
石川中央	12,690	68%	1,747	60	707	66%	97	50	13,397	68%	1,844	59
能登中部	2,008	11%	1,574	57	163	15%	128	53	2,171	11%	1,702	56
能登北部	798	4%	1,175	49	27	3%	40	45	825	4%	1,215	48
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 17-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
石川県	10,421	1.2%	904	58	4,388	1.3%	381	56	3,816	1.1%	331	53
南加賀	1,879	18%	814	55	714	16%	309	52	632	17%	274	50
石川中央	6,684	64%	920	59	3,048	69%	420	58	2,927	77%	403	56
能登中部	1,332	13%	1,044	64	365	8%	286	51	257	7%	202	47
能登北部	526	5%	774	53	261	6%	384	56	0	0%	0	38
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 17-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
石川県	734	1.0%	64	51	588	2.8%	51	53
南加賀	179	24%	78	54	124	21%	54	54
石川中央	508	69%	70	52	347	59%	48	53
能登中部	47	6%	37	45	105	18%	82	60
能登北部	0	0%	0	37	12	2%	18	46
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期 リハビリテーション病棟連絡協議会の独 自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケ ア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

³ 福井県・岐阜県・長野県・新潟県・富山県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・鹿児島県・沖縄県のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

17. 石川県

資_図表 17-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
石川県	27,984	1.1%	2,427	54	10,320	1.0%	895	52
南加賀	3,552	13%	1,538	45	2,400	23%	1,039	57
石川中央	21,312	76%	2,933	59	6,492	63%	894	52
能登中部	2,568	9%	2,014	50	1,104	11%	866	51
能登北部	552	2%	813	37	324	3%	477	38
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 17-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
石川県	3,225	1.0%	280	52	2,297	1.1%	199	56	928	0.8%	80	45
南加賀	438	14%	190	42	279	12%	121	43	160	17%	69	41
石川中央	2,391	74%	329	58	1,758	77%	242	62	633	68%	87	47
能登中部	270	8%	212	45	184	8%	144	47	86	9%	67	40
能登北部	127	4%	187	42	77	3%	114	42	50	5%	73	42
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 17-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
石川県	12,143	1.1%	1,053	57	10,803	1.2%	937	60	1,340	0.7%	116	46
南加賀	1,943	16%	841	50	1,720	16%	745	52	223	17%	97	44
石川中央	8,326	69%	1,146	61	7,492	69%	1,031	64	834	62%	115	46
能登中部	1,341	11%	1,051	57	1,156	11%	906	58	185	14%	145	50
能登北部	534	4%	786	48	436	4%	641	47	98	7%	144	50
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 17-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
石川県	1,121	1.0%	97	52	2,567	0.9%	223	50
南加賀	224	20%	97	52	386	15%	167	44
石川中央	746	67%	103	53	1,871	73%	258	54
能登中部	120	11%	94	51	196	8%	154	43
能登北部	31	3%	46	41	114	4%	168	44
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 17-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
石川県	164	1.1%	1.1	54	17	1.7%	0.1	58
南加賀	30	18%	1.0	52	3	18%	0.1	56
石川中央	110	67%	1.3	60	10	59%	0.1	60
能登中部	21	13%	0.9	51	3	18%	0.1	61
能登北部	3	2%	0.2	35	1	6%	0.1	49
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 17-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
石川県	17,852	1.1%	115	62	12,036	1.2%	78	65	5,816	1.0%	38	51
南加賀	3,619	20%	116	63	2,694	22%	87	72	925	16%	30	45
石川中央	9,828	55%	118	64	5,832	48%	70	59	3,996	69%	48	58
能登中部	2,622	15%	112	60	2,045	17%	88	72	577	10%	25	42
能登北部	1,783	10%	103	55	1,465	12%	85	70	318	5%	18	37
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

17. 石川県

資_図表 17-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
石川県	4,174	1.2%	27	59	6,811	1.3%	44	61	1,051	1.5%	6.8	56
南加賀	1,139	27%	37	76	1,408	21%	45	62	147	14%	4.7	51
石川中央	1,925	46%	23	52	3,430	50%	41	58	477	45%	5.7	54
能登中部	707	17%	30	65	1,091	16%	47	64	247	24%	10.6	65
能登北部	403	10%	23	53	882	13%	51	68	180	17%	10.4	65
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
石川県	867	0.4%	5.6	43	672	3.3%	4.3	66	2,851	1.5%	18.4	63
南加賀	97	11%	3.1	40	123	18%	4.0	64	480	17%	15.4	57
石川中央	751	87%	9.0	46	509	76%	6.1	76	1,634	57%	19.6	65
能登中部	19	2%	0.8	38	0	0%	0	43	459	16%	19.7	65
能登北部	0	0%	0	37	40	6%	2.3	56	278	10%	16.1	59
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
石川県	1,426	0.8%	9.2	46	30	0.3%	0.2	47	1,396	0.8%	9.0	47
南加賀	225	16%	7.2	43	0	0%	0	45	225	16%	7.2	44
石川中央	1,102	77%	13.2	53	30	100%	0.4	48	1,072	77%	12.9	53
能登中部	99	7%	4.2	38	0	0%	0	45	99	7%	4.2	39
能登北部	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
石川県	1,822	1.2%	11.8	60	1,471	1.3%	9.5	61	351	0.9%	2.3	50
南加賀	414	23%	13.3	66	344	23%	11.1	68	70	20%	2.2	50
石川中央	876	48%	10.5	55	657	45%	7.9	54	219	62%	2.6	54
能登中部	306	17%	13.1	65	272	18%	11.6	70	34	10%	1.5	40
能登北部	226	12%	13.1	65	198	13%	11.5	69	28	8%	1.6	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （介護施設 等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
石川県	16,036	1.1%	103	60	14,476	1.2%	93	63	1,561	0.7%	10.1	44
南加賀	3,441	21%	111	64	3,245	22%	104	70	197	13%	6.3	37
石川中央	8,693	54%	104	60	7,562	52%	91	61	1,131	72%	13.6	51
能登中部	2,300	14%	98	57	2,170	15%	93	62	130	8%	5.5	36
能登北部	1,602	10%	93	53	1,498	10%	87	58	104	7%	6.0	37
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 17-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
石川県	6,012	0.8%	39	48	2,687	0.8%	17	46	12,148	0.9%	78	47
南加賀	1,266	21%	41	48	478	18%	15	44	1,430	12%	46	37
石川中央	3,755	62%	45	50	1,753	65%	21	50	8,113	67%	97	54
能登中部	585	10%	25	42	274	10%	12	40	932	8%	40	35
能登北部	406	7%	24	41	182	7%	11	38	1,673	14%	97	53
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

17. 石川県

資_図表 17-21 公的病院病床数、民間病院病床数

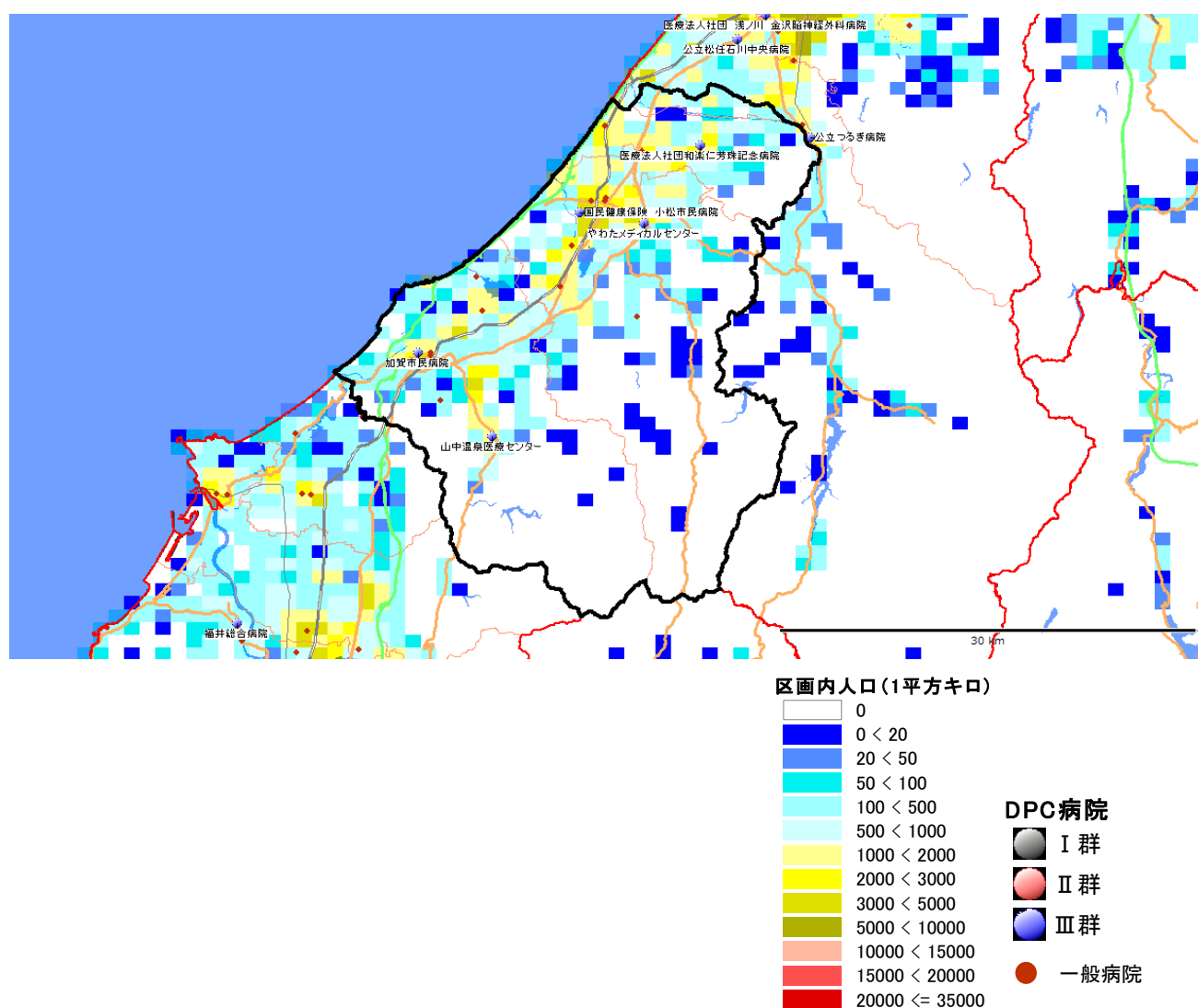
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
石川県	8,208	6,745	437	10,093	3,322	3,904	67.0%	56	10.1%	50
南加賀	1,255	1,076	135	1,909	749	578	59.0%	53	18.9%	54
石川中央	5,289	4,329	143	7,086	2,099	2,859	67.3%	56	4.8%	48
能登中部	1,046	814	78	918	474	287	63.2%	55	21.4%	55
能登北部	618	526	81	180	0	180	100.0%	70	31.0%	60
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

みなみかが

17-1. 南加賀医療圏

構成市区町村¹ 小松市,加賀市,能美市,川北町

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 南加賀医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(南加賀医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 南加賀(小松市)は、総人口約 231 千人(2015 年推計)、面積 776 km²、人口密度は 298 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 南加賀の総人口は 2025 年に 218 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 193 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 31 千人が、2025 年にかけて 42 千人へと増加し(2015 年比+35%)、2040 年には 39 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 南加賀の一人当たり医療費(国保)は 349 千円(偏差値 60)、介護給付費は 284 千円(偏差値 59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 南加賀の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.62 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 43、診療所医師数 41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 45 とやや少ない。南加賀には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の小松市民病院、加賀市民病院、やわたメディカルセンターがある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 54 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 44 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 南加賀の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3619 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2694 床(偏差値 72)、高齢者住宅等が 925 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3245 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 70)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 76、特別養護老人ホーム 62、介護療養型医療施設 51、有料老人ホーム 40、軽費ホーム 64、グループホーム 57、サ高住 43 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 52 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 56 と多い。介護職員（在宅）の合計は、197 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 37)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

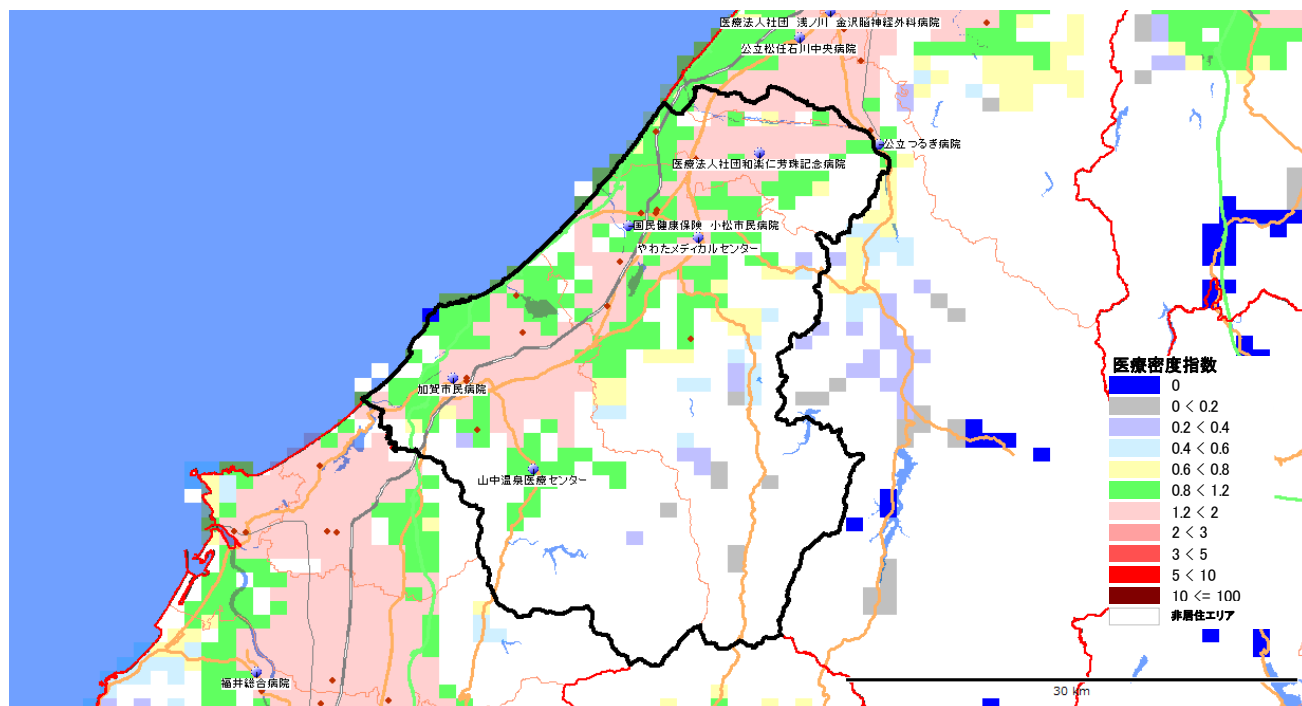
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+22%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+2%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

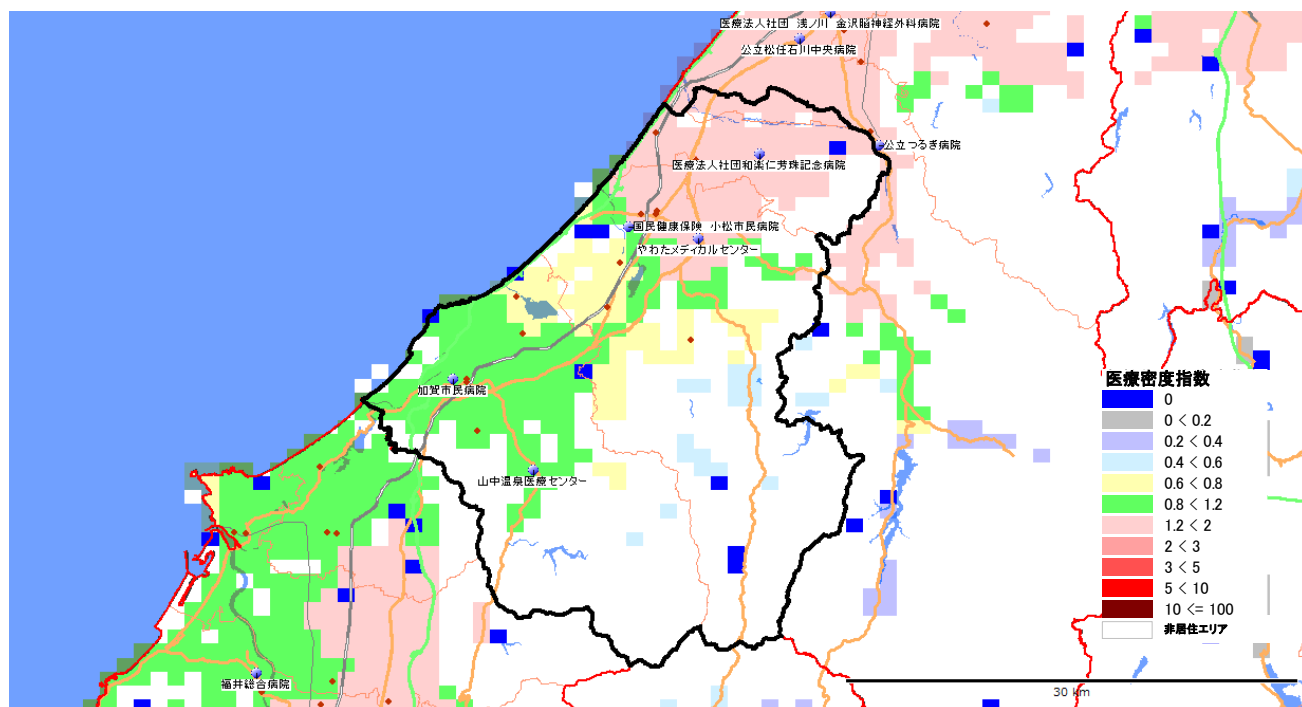
17. 石川県

2. 医療密度⁵

図表 17-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 17-1-2 慢性期医療密度指数マップ

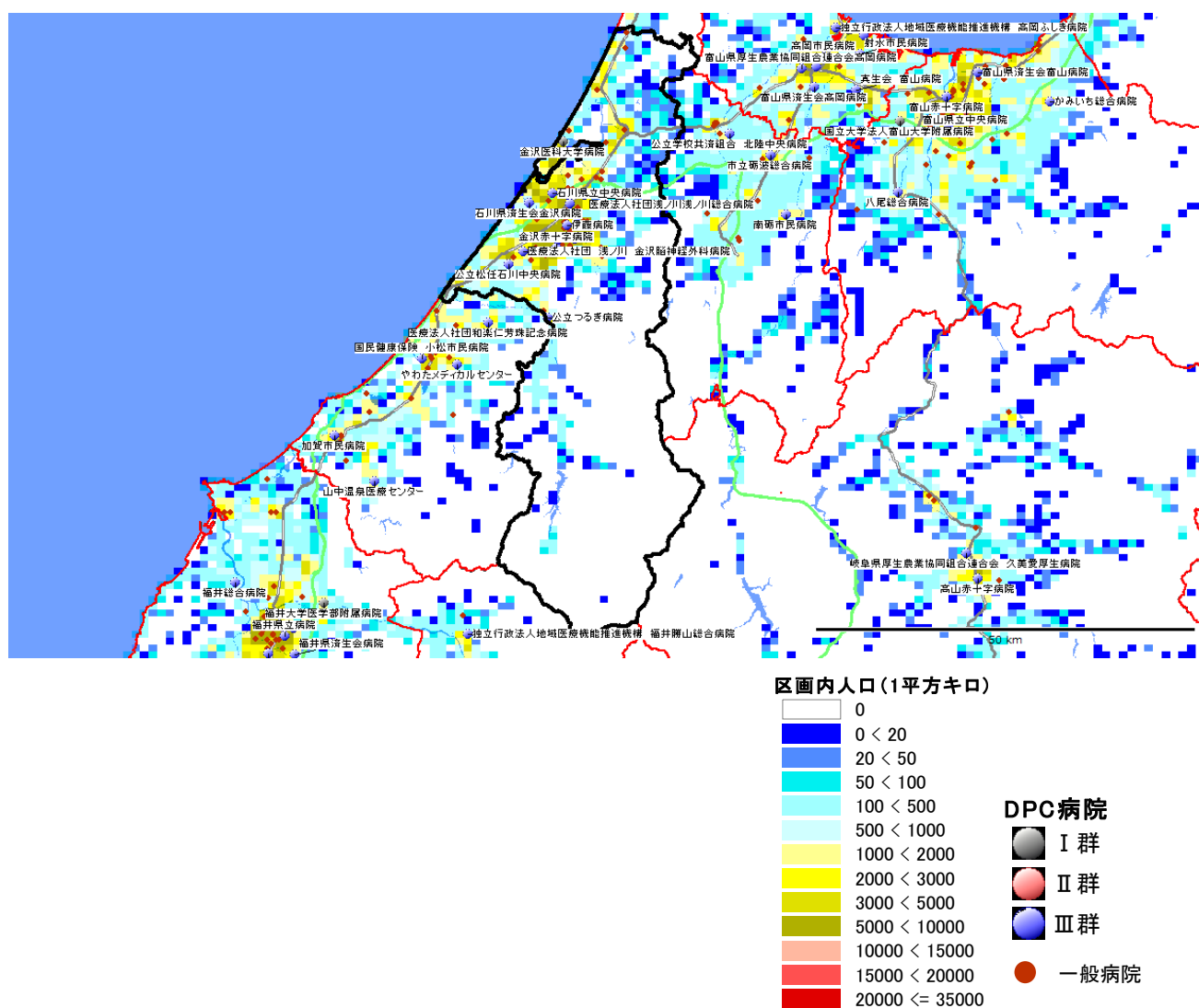


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

いしかわちゅうおう 17-2. 石川中央医療圏

構成市区町村¹ 金沢市,かほく市,白山市,野々市市,津幡町,内灘町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 石川中央医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(石川中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 石川中央(金沢市)は、総人口約 727 千人(2015 年推計)、面積 1432 km²、人口密度は 507 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 石川中央の総人口は 2025 年に 713 千人へと減少し(2015 年比-2%)、2040 年に 659 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 83 千人が、2025 年にかけて 121 千人へと増加し(2015 年比+46%)、2040 年には 128 千人へと増加する(2025 年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 石川中央の一人当たり医療費(国保)は 350 千円(偏差値 60)、介護給付費は 271 千円(偏差値 56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 石川中央の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.45、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.31 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 58(病院医師数 62、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 59 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 59 と多い。石川中央には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の石川県立中央病院(救命)、金沢大学附属病院(I 群)、金沢医科大学病院(I 群)、1000 例以上の金沢医療センター、公立松任石川中央病院、500 例以上の浅ノ川総合病院、石川県済生会金沢病院、北陸病院、金沢市立病院、金沢病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 58 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 52 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 56 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 50 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 石川中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9828 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 5832 床(偏差値 59)、高齢者住宅等が 3996 床(偏差値 58)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7562 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 58、介護療養

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 54、有料老人ホーム 46、軽費ホーム 76、グループホーム 65、サ高住 53 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 60 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 60 と多い。介護職員（在宅）の合計は、1131 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

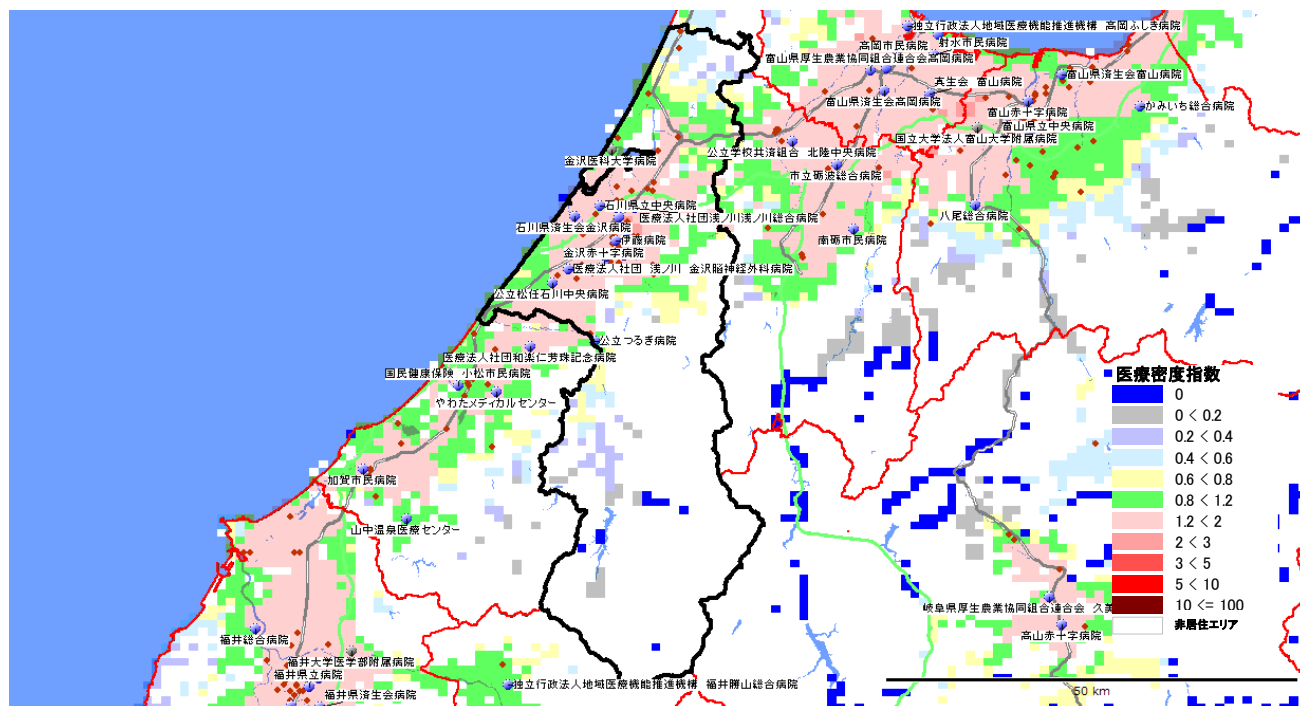
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+19%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は-24%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

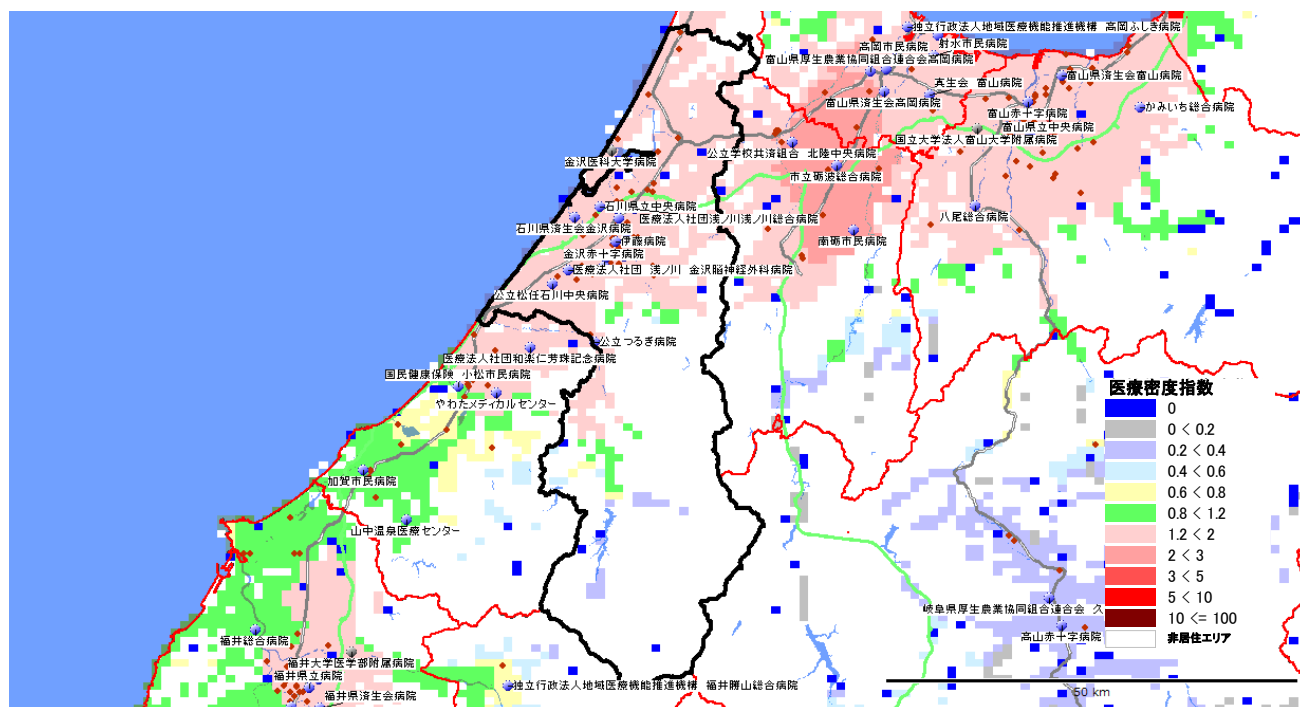
17. 石川県

2. 医療密度⁵

図表 17-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 17-2-2 慢性期医療密度指数マップ

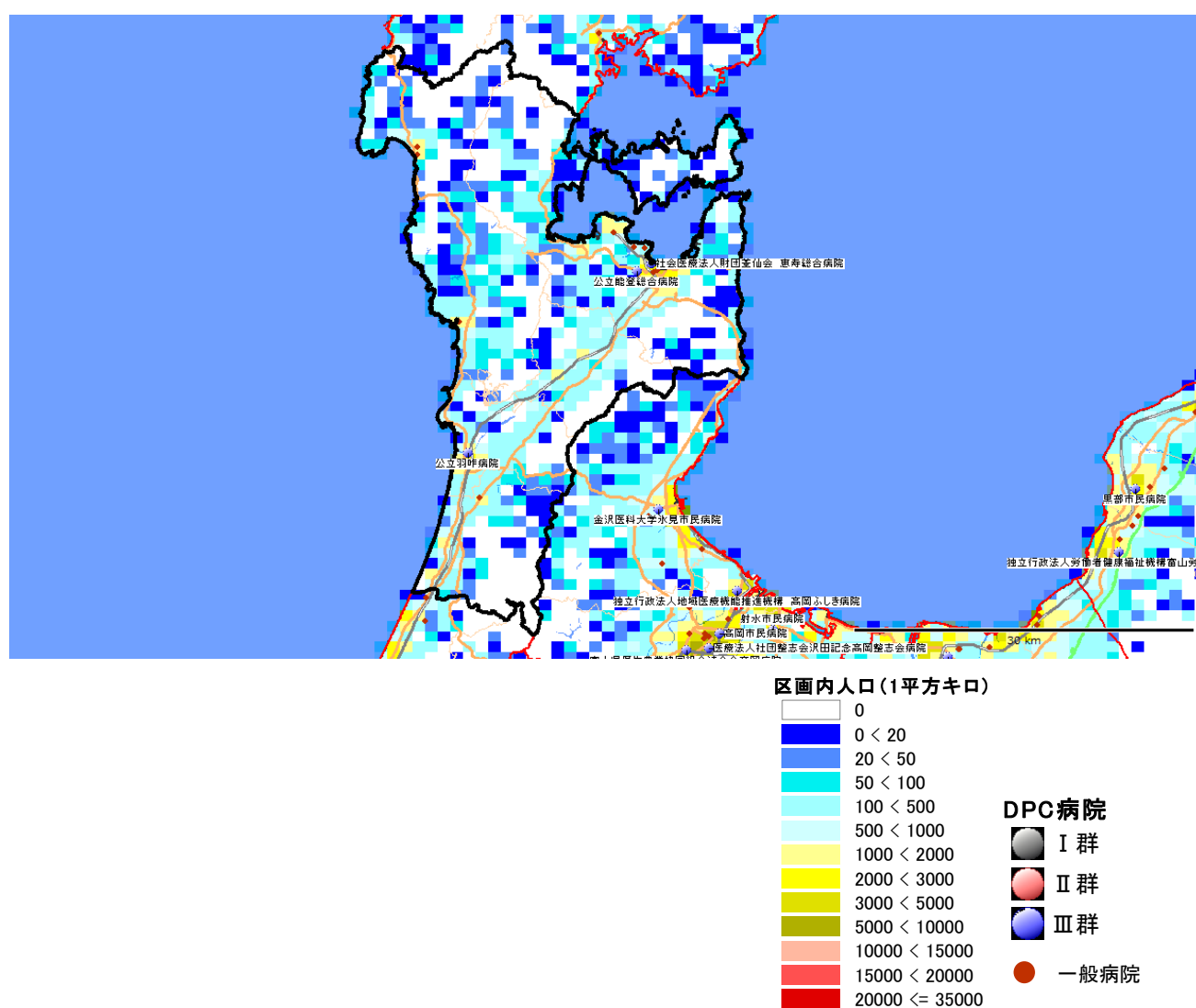


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

17-3. の と ち ゆ う ぶ 能登中部医療圏

構成市区町村¹ 七尾市,羽咋市,志賀町,宝達志水町,中能登町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 能登中部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(能登中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 能登中部(七尾市)は、総人口約 128 千人(2015 年推計)、面積 848 km²、人口密度は 150 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 能登中部の総人口は 2025 年に 111 千人へと減少し(2015 年比-13%)、2040 年に 86 千人へと減少する(2025 年比-23%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 23 千人が、2025 年にかけて 28 千人へと増加し(2015 年比+22%)、2040 年には 24 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 能登中部の一人当たり医療費(国保)は 378 千円(偏差値 66)、介護給付費は 296 千円(偏差値 62)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 能登中部の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.73、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.48 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 47、診療所医師数 40)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 57 と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 64 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。能登中部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の恵寿総合病院、公立能登総合病院(救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 45 とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 47 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 45 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 能登中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2622 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2045 床(偏差値 72)、高齢者住宅等が 577 床(偏差値 42)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2170 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 62)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 65、特別養護老人ホーム 64、介護療養型医療施設 65、有料老人ホーム 38、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 65、サ高住 38 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 61 と多い。介護職員（在宅）の合計は、130 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 36)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

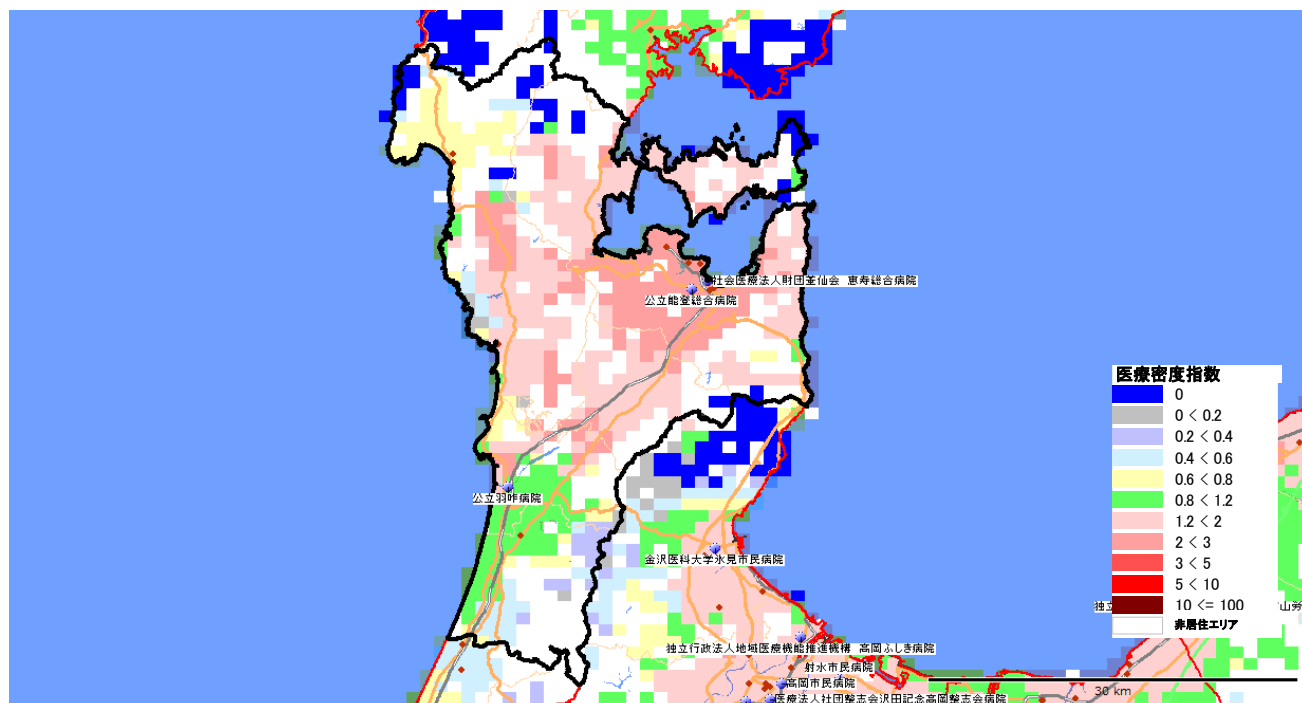
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+21%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+19%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

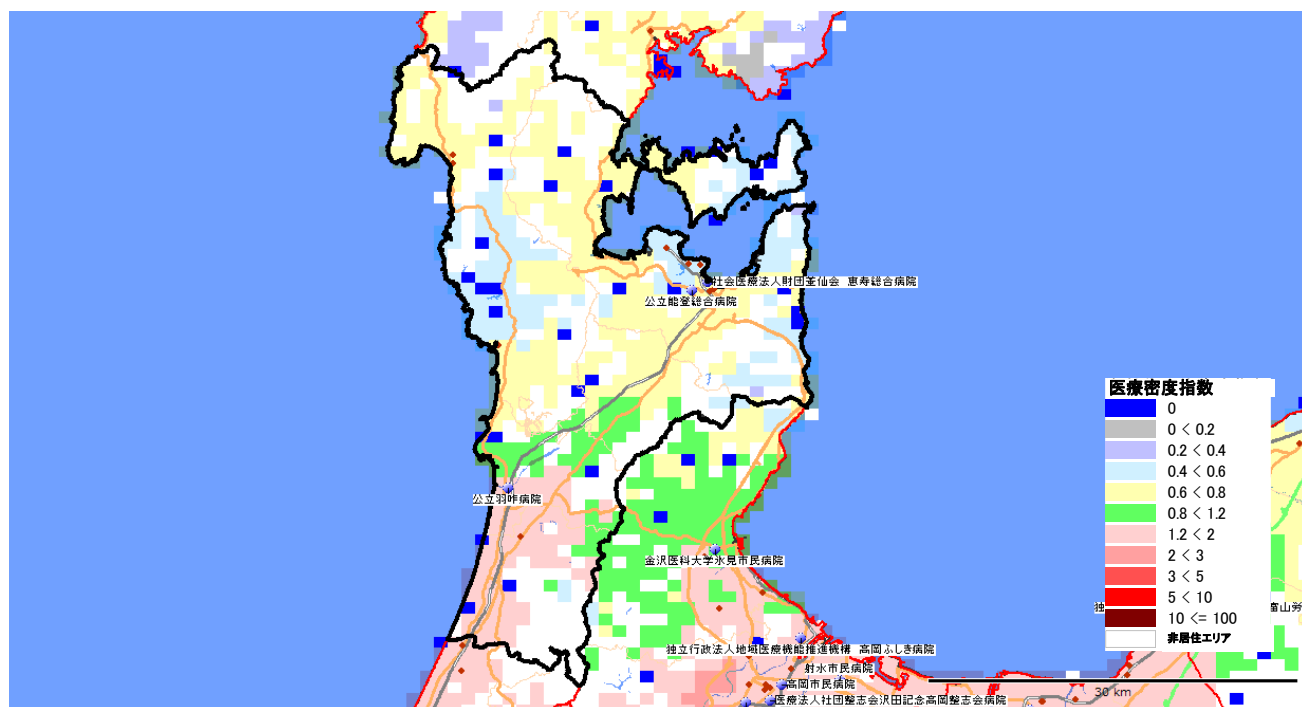
17. 石川県

2. 医療密度⁵

図表 17-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 17-3-2 慢性期医療密度指数マップ

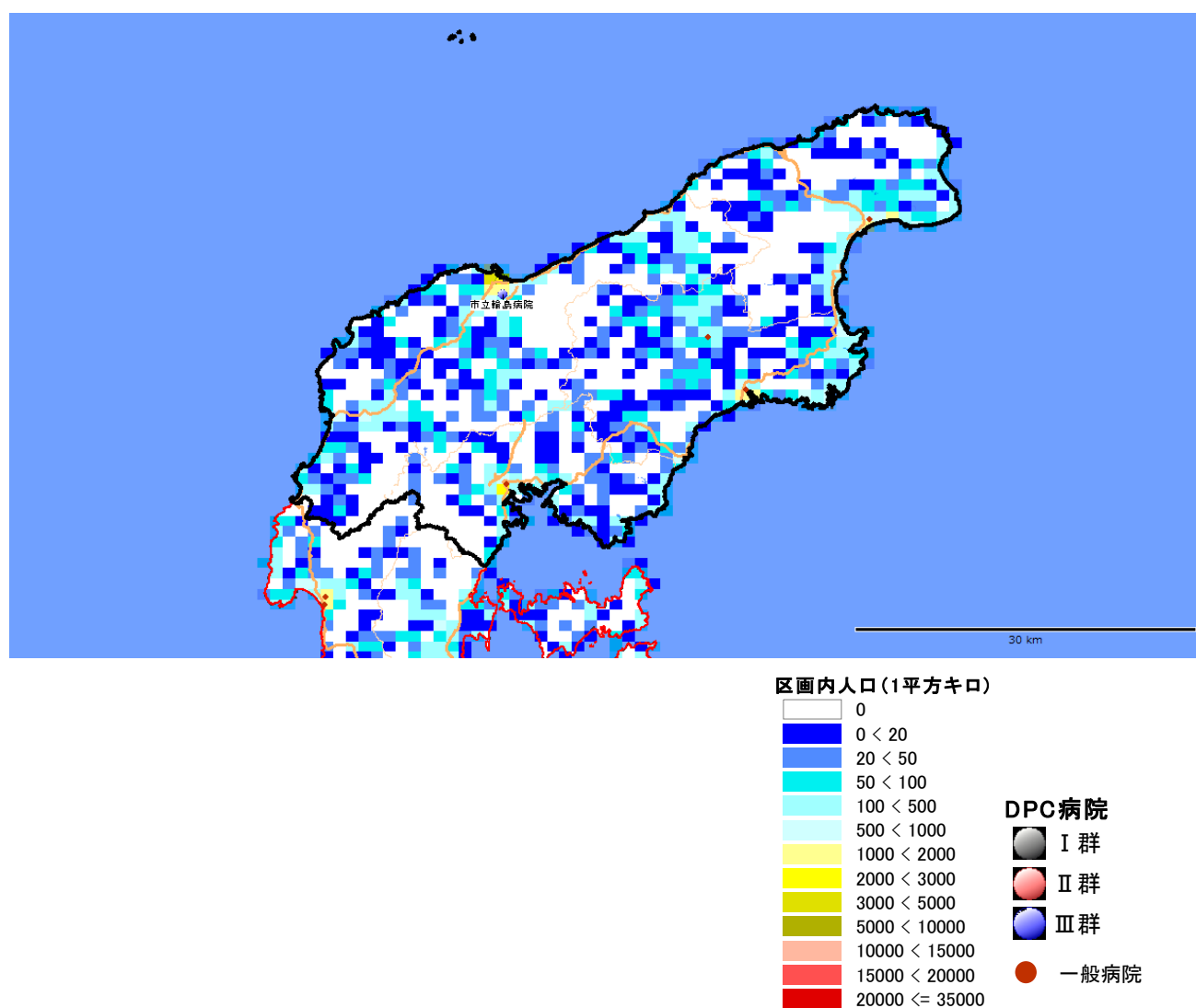


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

17-4. の と ほ く ぶ 能登北部医療圏

構成市区町村¹ 輪島市, 珠洲市, 穴水町, 能登町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 能登北部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000 人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(能登北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 能登北部(輪島市)は、総人口約 68 千人(2015 年推計)、面積 1130 km²、人口密度は 60 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 能登北部の総人口は 2025 年に 54 千人へと減少し(2015 年比-21%)、2040 年に 37 千人へと減少する(2025 年比-31%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 17 千人が、2025 年にかけて 17 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 13 千人へと減少する(2025 年比-24%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 能登北部の一人当たり医療費(国保)は 370 千円(偏差値 64)、介護給付費は 299 千円(偏差値 63)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 能登北部の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.66、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.33 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 42、診療所医師数 42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 37 と少ない。能登北部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 56 と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 41 と少なく、回復期病床数は存在しない。

***精神病床の現状：** 精神病床は存在しない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 能登北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1783 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1465 床(偏差値 70)、高齢者住宅等が 318 床(偏差値 37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1498 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 68、介護療養型医療施設 65、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 56、グループホーム 59、サ高住なし(偏差値 31)である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 35 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 49 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、104人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

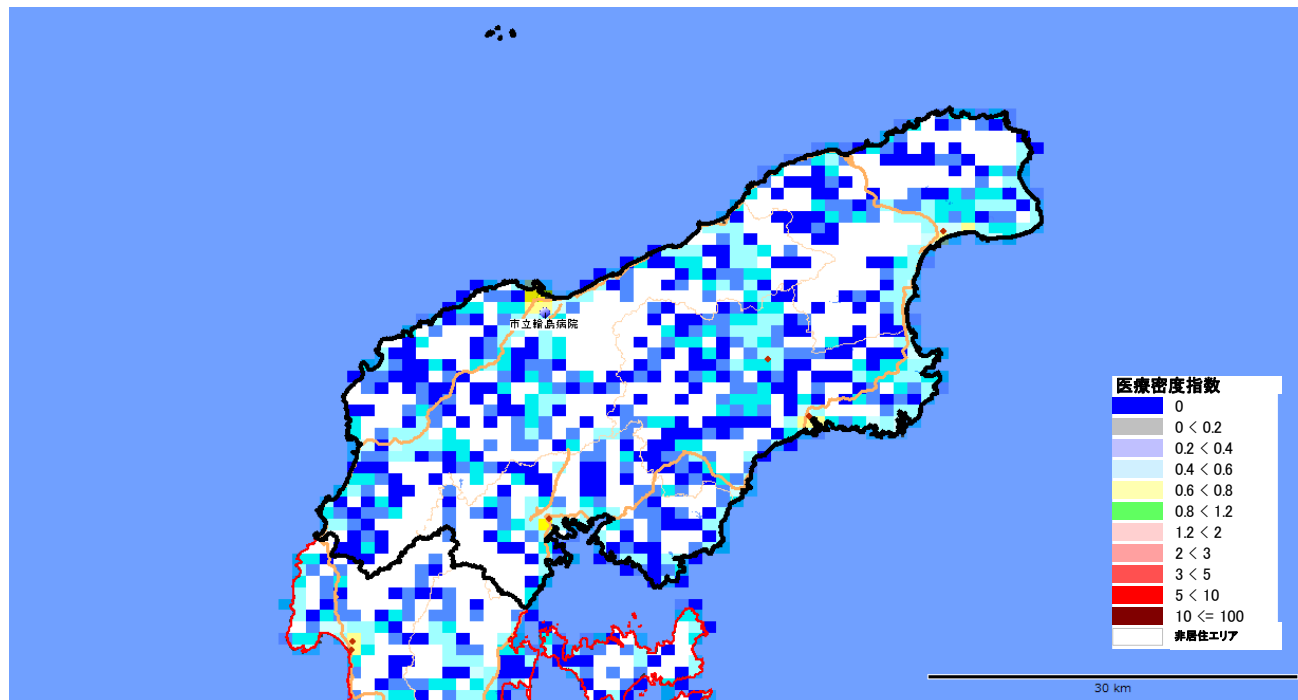
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+19%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+38%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

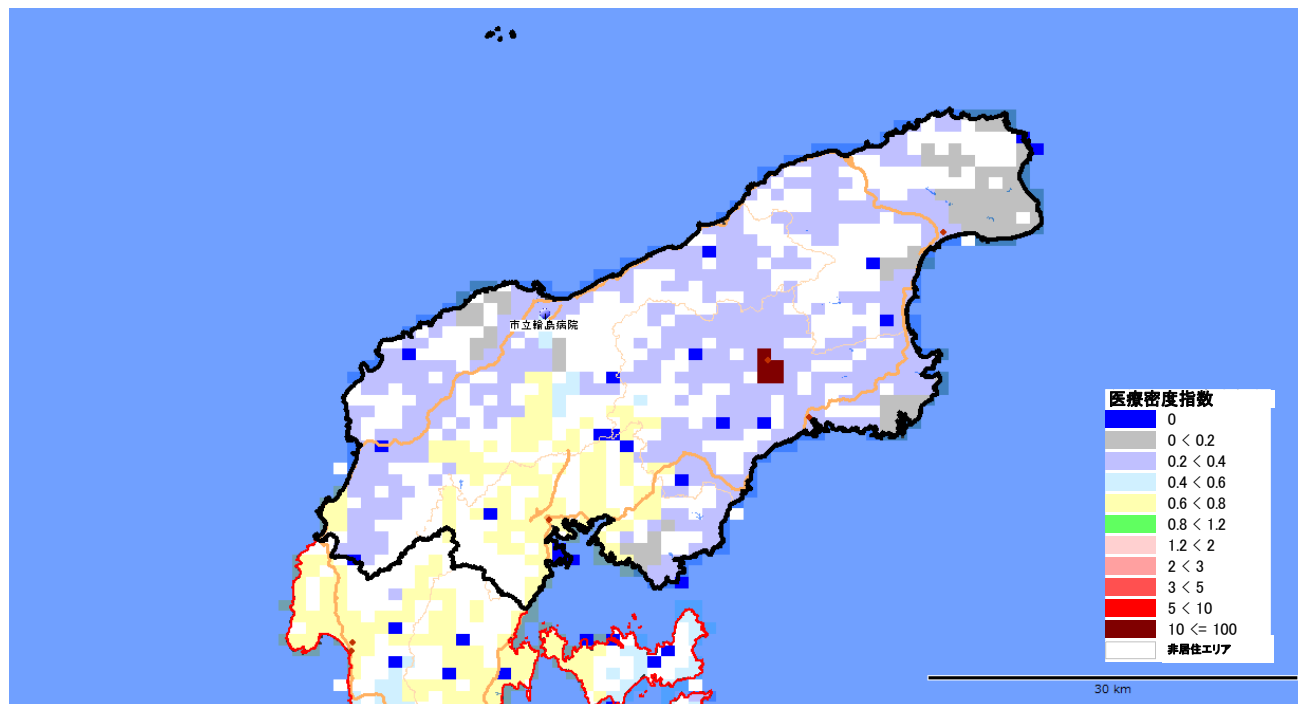
17. 石川県

2. 医療密度⁵

図表 17-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 17-4-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。